

銀河漂流

1/8
ギブル

ARV-J ASTROGATER
ROUND-VERNIAN

1/144 SCALE

アストロゲーター
ラウンドバーニアン

ギブル

©毎日放送・日本サンライズ

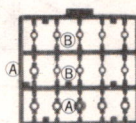
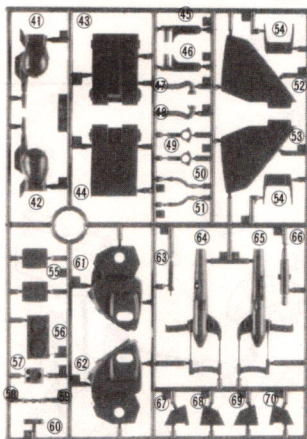
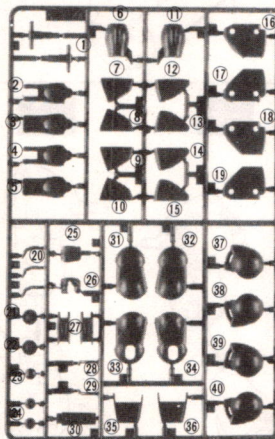
BANDAI

BANDAI

株式会社バンダイ ホビー事業部

東京都台東区駒形2-5-4 千111

TEL (03)842-5165代



- 接着剤
- デカール

お客様へお願い

部品をこわしたり、なくした人には実費にて部品をおわけしています。「部品注文カード」に必要な部品番号・数量などをはっきり書いて切り取り、部品代金(部品代+当社からの返送料)を現金書留が郵便為替(定額小為替も可)で当社サービスセンターまでお申しこみください。部品代は1個40円、郵送料は120円です。

例：部品3個の時) 40円×3=120円+郵送料120円=合計部品代金240円

郵便為替は、この部品代金の他に「為替料金」が加わりますので、くわしくはお近くの郵便局でおたずねください。

部品数が多くて、返送料が120円をこえる時は不足分を請求させていただきます。120円以下の時は、残額をお返しします。(お送りする部品の形状・数量により郵送料が異なります。)

もし部品に不良品がございましたら、その部品を切りとり、商品名を書いて当社までお送りください。良品と交換させていただきます。

申し込み先 千424 静岡県清水市西久保305 TEL0543-65-5315

(株)バンダイ静岡工場サービスセンター一部係

部品注文カード

1/144ギブル

- 部品の注文は、「現金書留」が「郵便為替」でお申しこみください。

必要な部品番号・数量を書いてください。

- 郵便番号・住所・お名前を忘れずに!!

プラモデル®をたのしくつくるために

1. 色をぬるときに、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
2. 色をぬったり、接着剤を使うときは、必ず窓をあけてください。
3. 色をぬったり、接着剤を使うときは、火は絶対に使わないでください。

おきやくさまへ ★とそうするときは、つぎのことをまもって、たたくつかってください。

- とそうするときや、とそうがおわったあと、しばらくのあいだ、まどをあけて、へやのくきをいれかえてください。
- とりようは、ながいあいだうと、くせになることがありますから、すわなくてください。
- 火のあるところでは、ぜったいにつかわなくてください。
- のこったとりようは、ふたをして、ちいさなこどもが、とどかないところにおいてください。

お父様・お母様へ

塗装する時や接着剤を使う時は、下記の事を守って正しく使うよう、お子様にご指導をお願いします。


- 塗料や接着剤には有機溶剤が含まれており、長時間吸うとくせになることがあり、健康を害することもあるので、故意に吸わないでください。塗料や接着剤を使う時および使ったあと、しばらくの間窓を開け、換気をよくしてください。● 火のあるところでは、絶対に使用しないでください。● 接着剤は接着用以外には使わないでください。● 幼児の手の届かないところに保存し、いたずらをしないように、注意してください。● 残った塗料、接着剤は、ふたをして、直射日光を避けて保存してください。



組み立てる時の注意

- 組み立てる前に一度説明図をよく読みましょう。
- 部品を取り出した空袋は、小さな子供が、かぶったりしないよう、破りすててください。
- 部品は番号をたしかめ、ニッパーかナイフできれいに切りとり、よぶん

なところは、きれいにけずります。

- 部品は接着する前に一度組んでみて接着するところをたしかめます。接着するところには×印がついています。
- 部品のなかには、やむをえず、とがったところがあるものがありますので気をつけて組み立ててください。このマーク  がついています。

- プラスチック専用塗料、溶剤(シンナー)、接着剤を使用する時は、火気に注意し、換気をよくして正しく使いましょう。
- 部品を取り出した空袋は、幼児がかぶったりしないよう、やぶりすててください。

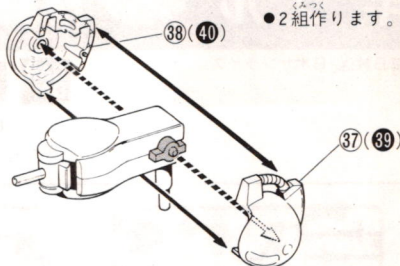
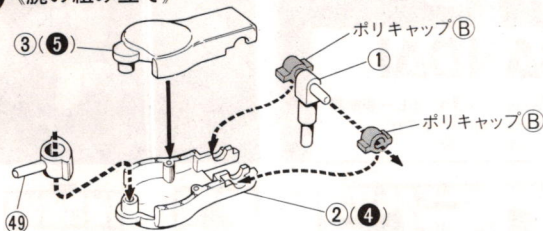
家庭用品品質表示法による接着剤品質表示

- 取扱い上の注意
- 幼児の手が届かないところに保存し、いたずらをしないよう注意すること。
 - 接着剤以外には使用しないこと。
 - 火気のあるところでは使用しないこと。
 - 多量に使用するとき、および多量に使用したあとしばらくの間は換気をよくすること。
 - 有機溶剤が含まれているので吸うと有害でくせになり、健康を害することがあるので吸わないこと。
- 表示者 S23006 S25013

● 図の中の実線の矢印(→)は接着するところ、点線の矢印(---→)は接着しないところです。

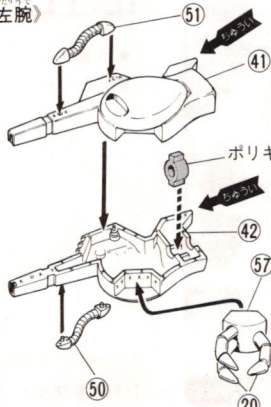
1 《腕の組み立て》

● 2組作ります。

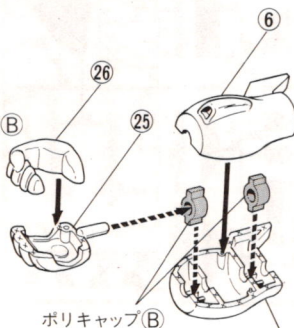


● 2組作ります。

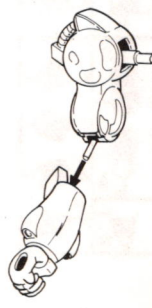
《左腕》



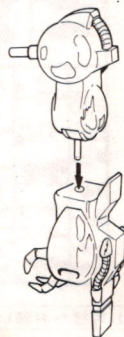
《右腕》



《右腕》



《左腕》

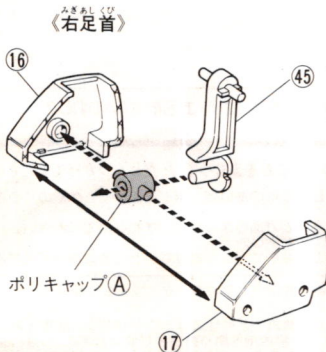


※ 50、51は向きに注意してください。

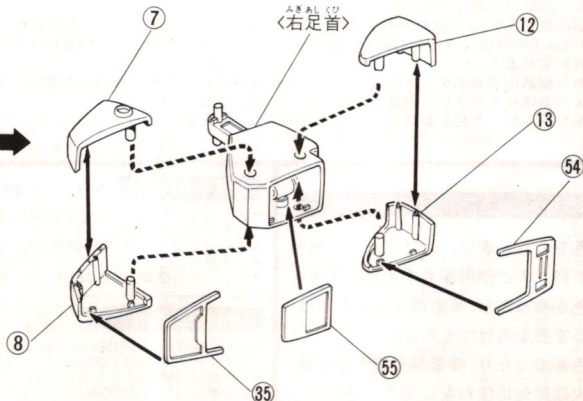
2 《右足の組み立て》

★ 各部品に番号が入ってますから、番号をみて部品をたしかめてください。

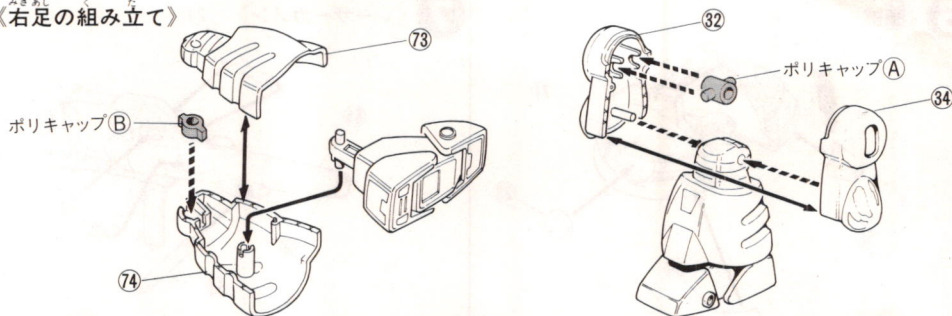
《右足首》



《右足首》

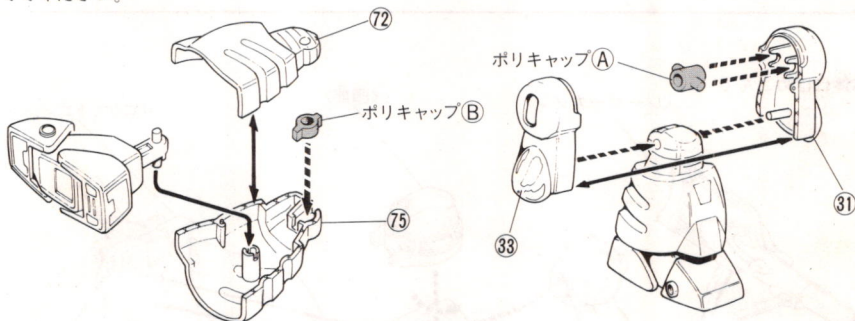
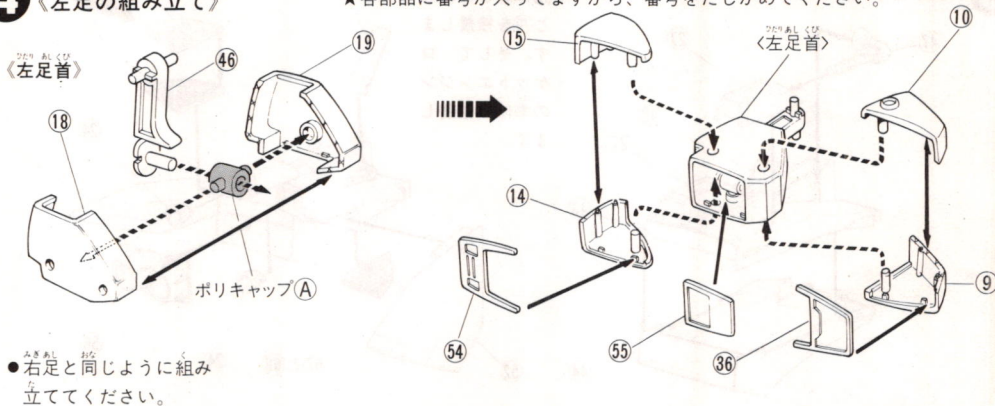


3 《右足の組み立て》



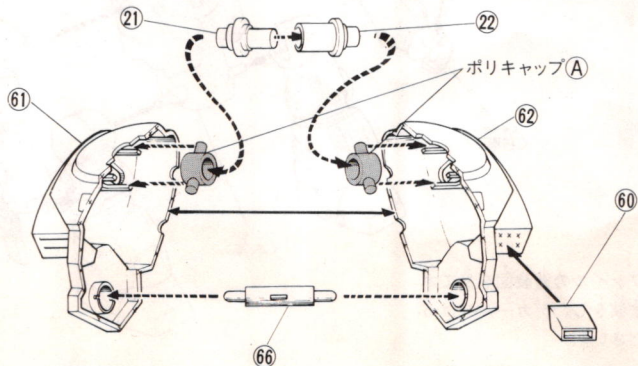
4 《左足の組み立て》

★各部品に番号が入ってますから、番号をたしかめてください。

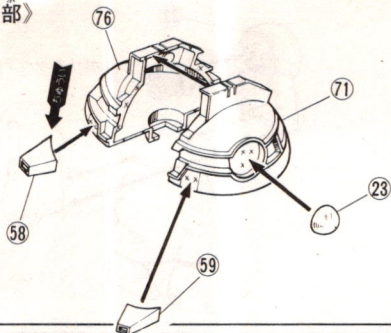


5 《本体の組み立て》

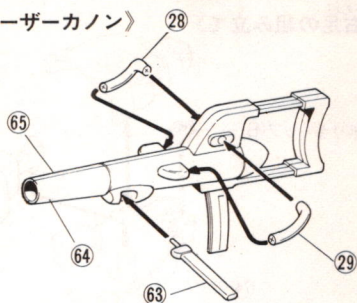
- 21、22をポリキャップ(A)にはめ込んで、本体を接着します。



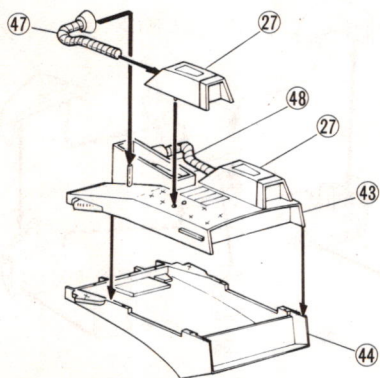
6 《頭部》



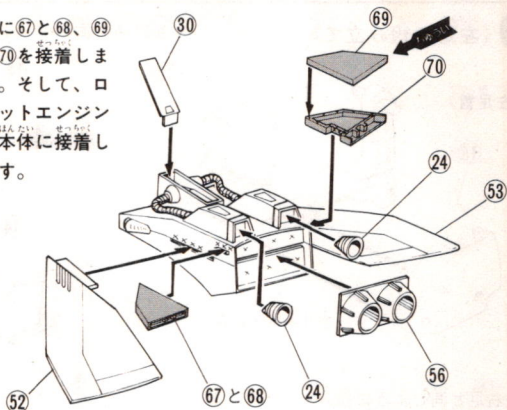
7 《レーザーカノン》



8 《ロケットエンジン》

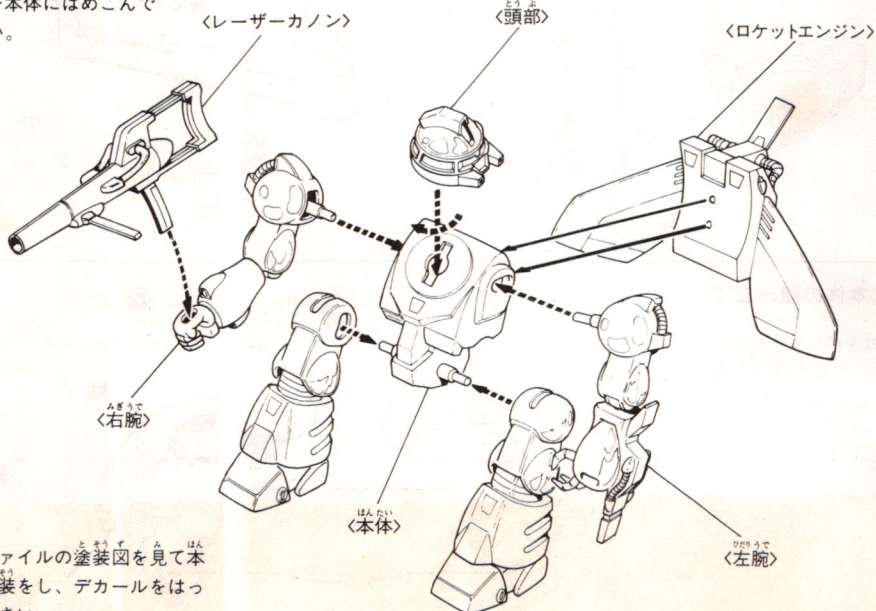


※先に67と68、69と70を接着します。そして、ロケットエンジンの本体に接着します。



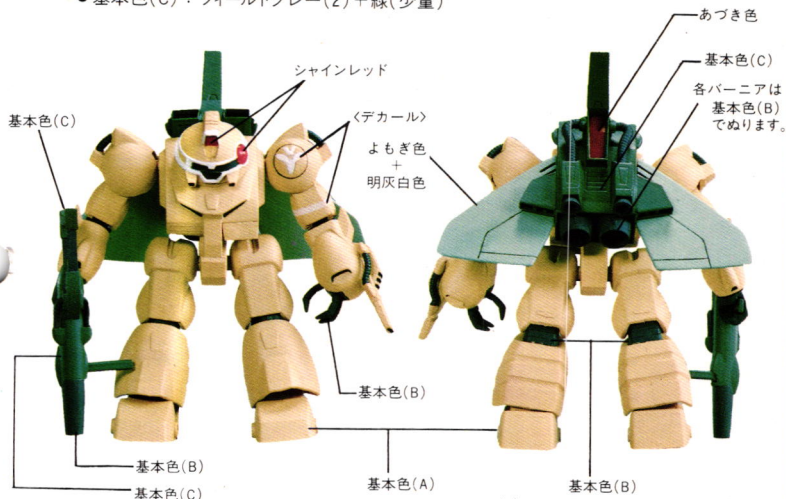
《完成》

- 各部分^{かんせい}を本体^{ほんたい}にはめこんでください。



- メカファイルの塗装図^{とそうず}を見て本体^{ほんたい}に塗装をし、デカールをはってください。

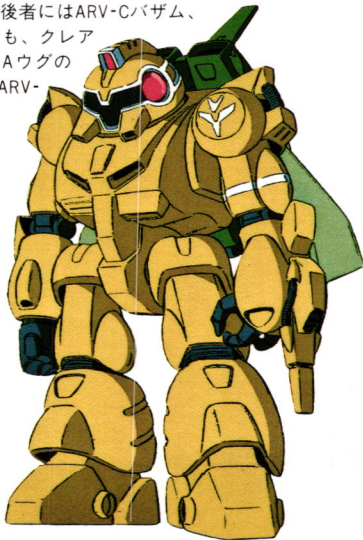
- 基本色(A)：クリームイエロー(80%)＋白(20%)＋ディナグリーン(少量)
- 基本色(B)：ミディアムブルー＋ネービーブルー＋赤(少量)
- 基本色(C)：フィールドグレー(2)＋緑(少量)

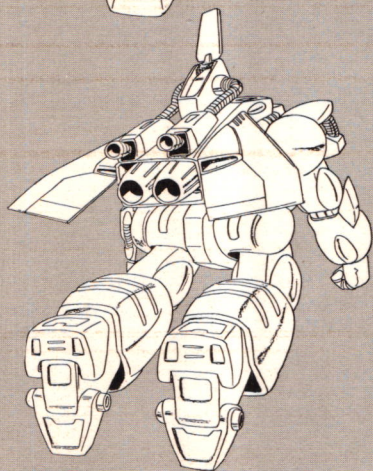
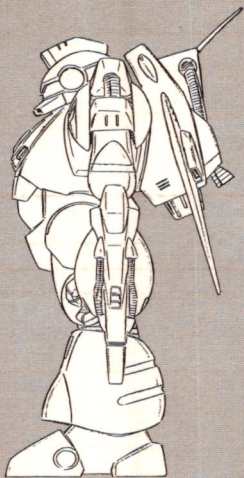


●各色にはフラットベースをまぜましょう。

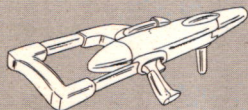
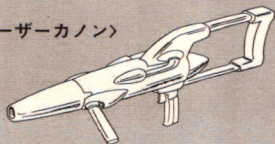
■A.R.V-J GIBUL

ククトニアン軍においては、機動兵器(ARV)はその用兵に応じて開発、生産が行われるが、大別すると宇宙空間用、地上戦用に分類できる。ARV-Bルザルガ、ARV-Gドギルムなどは前者の典型であり、後者にはARV-Cバザム、ARV-Kディゾなどがあげられる。その他にも、クレアド星の地球人植民地施設を壊滅させたARV-Aウグのような汎用タイプも存在している。しかし、ARV-Aウグはあくまでも宇宙戦を主眼として開発された機体であり、地上戦においてはその行動はどうしても制限されてしまう。そのARV-Aウグの後継機として開発されたのがARV-Jギブルである。半球状の頭部に2基のダクト、左側にオフセットされた探知システムをもち、固定武装を内蔵し、三本指のマンピュレーターシステムを備えた左腕をもつギブルのデザインはウグの色を濃く残しており、シルエットで見る限りその判別は困難である。しかし現在ククト星軍の機動部隊ではウグからギブルへの機種改変が終了しており、またリフレイドストーンの捜索にあたっているシド・ミューラー少佐の第2特務別動隊にもギブルが配備されている。





〈レーザーカノン〉



ウグの後継機として開発されたギブルであるが、ウグが宇宙戦を主眼として開発されたのに対し、ギブルは地上戦における機動力の向上を主眼に開発されており、背部には強力なロケットエンジンと小型のウイングを装備し短時間であれば空中行動がとれるようになっている。また、ウグの欠点であった前傾姿勢ゆえの後方視界の悪さは改善されている。

機動力の向上により地上戦における主力兵器としての地位を得たギブルをさらに有効に活用すべくククトニアン軍では周辺兵器の開発にも余念がなかった。一連のフローティングタンクの開発がそれである。フローティングタンクの完成によりギブルの航続距離は飛躍的に向上し、大口徑火器の装備により攻撃力もアップしたのである。現在四基のプラットフォームをもつ大型フローティングタンクの開発、生産も行われている。

●キットデータ ■商品名/アストロゲーター・ギブル ■スケール/1/144 ■全高/118mm ■価格/500円 ■発売/昭和59年10月 ■ボックスアーチスト/長谷川政幸 ■KIT No. 050122